



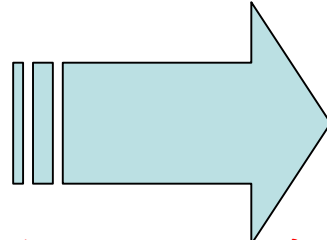
平成2年供用箇所



公共下水道の効果(汚水)

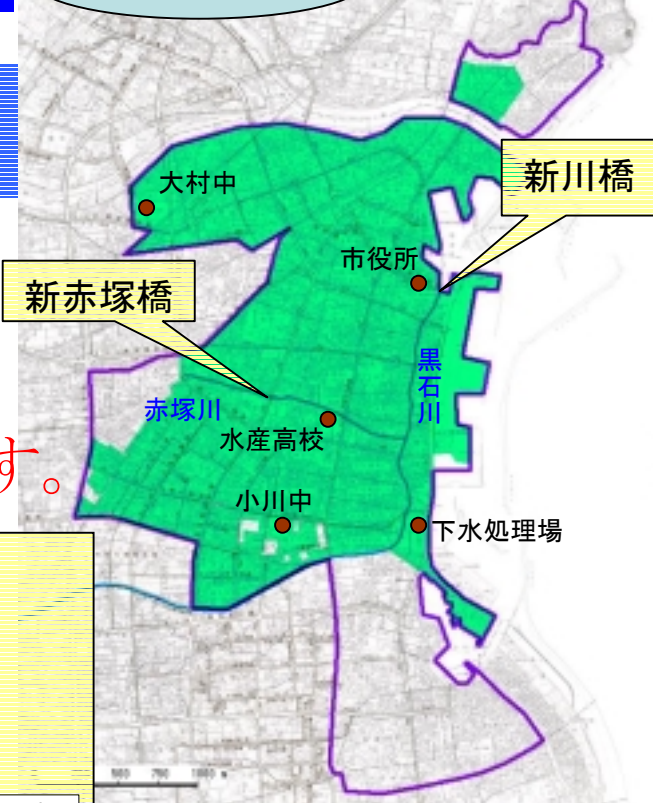
公共下水道の整備が進むと・・・
普及率 13.9% ⇒ 25.9%

下水道認可区域

 供用開始区域




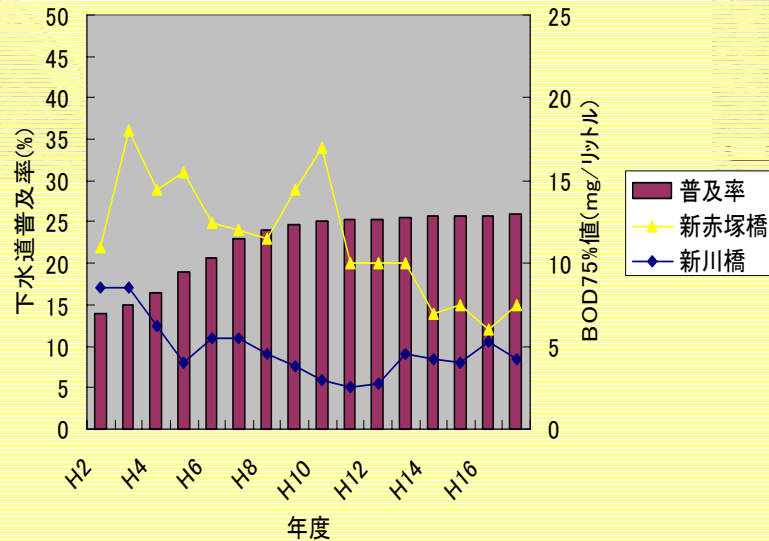
海と川がきれいになります。

平成18年供用箇所



公共下水道は、トイレなどのし尿処理だけでなく台所や洗面所などの生活雑排水も処理します。右のグラフは下水道整備が進んだ黒石川と赤塚川のBODの変化です。15年前と比べておよそ1/2になりました。

黒石川・赤塚川BOD変化と下水道普及率



下水道普及率

焼津市の人口に対して公共下水道を使用できる人の割合。

BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の有機物が微生物によって酸化されるときに必要な酸素の量。値が大きい程汚れていることを示します。魚がすみやすい水質は5mg/リットル以下といわれています。